

令和4年度（第49期）

事業報告

千葉県千葉市中央区中央港一丁目12番11号

一般財団法人

千葉県薬剤師会検査センター

一般財団法人

千葉県薬剤師会検査センター

令和4年度事業報告

I. 事業概況

検査料金の低価格化や検査機関相互の競争激化、物価高騰など当財団を取り巻く環境は厳しい状況となりましたが、正確且つ安定的な試験検査を継続すると同時に人材の育成を図り、顧客の維持拡大等に取り組んだ結果、当期は過去10年間で最高の事業収入となりました。しかし、水道光熱費等の費用もまた大幅に増加したことから、経常収支は黒字化したものの前期の実績には少し及ばない結果となりました。

管理部門は、経営サポートへの取り組みを継続し、各事業部門の現況を把握するなど経営層と一体となって効率的な事業活動となるよう取り組みました。

技術検査部門は、生産性の向上や人材育成を図るとともに、顧客の維持および新規開拓に取り組み、予算を達成し、前年を上回る事業収入となりました。

業務部門は、顧客からの情報収集を図り、顧客要求等に迅速に対応することにより技術検査部門や簡易専用水道検査部門の業績に大きく貢献しました。簡易専用水道検査部門は、対象施設の減少等の影響もあり前年を若干下回る結果となりました。

食品検査部門は、依然として新型コロナウイルス感染症の影響を受けたため、幾つかの改善策を講じたものの結果を出すに至らず、前年を若干下回る事業収入となりました。

医薬品検査部門は、着実な試験検査を継続しつつ、新規顧客の獲得に取り組み、引き続き業績を伸ばすことができました。

製品安全検査部門は、休園、休業していた既存顧客が新型コロナウイルス禍から回復してきたのに合わせ、前年を大幅に上回る事業収入となりました。

品質保証部門は、厚生労働省の登録の継続的な維持と試験検査業務の精度と信頼性を確保するため、定期的な内部監査、内部点検を実施しました。また保有する ISO9001、IA Japan ASNITE (製品評価技術基盤機構認定制度) ISO/IEC 17025:2017、JNLA (産業標準化法試験事業者登録制度)、MLAP (特定計量証明事業者認定制度)、認証等の維持・更新への対応等を行いました。